

きっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

PASSPORT.

徳島市市民活力開発センター レポート

vol. **71**
FREE PAPER
地域の出来事に触れる
ソーシャルマガジン



市活センターの振り返り REPORT

とくしま市活センター

Editor's note 編集後記



気持ちを新たにす旅でした。

ボランティアに何の興味もなかったような子が、一つのイベントをつかぎに、少しずつ活動に足を運ぶようになり、気付けば自分たて企画を運営するようになったりして。そしてそれは世代を越えて繋がりを広げ、もっと活動が楽しくなっていく。この上半期の出来事を振り返ると、そんな素敵な活動の連鎖が広がっていく出来事多かったように思います。これからも皆様へより良い支援を提供できるように、職員一同チャレンジを続けていく所存です。

ー 長谷川 (構成/写真)

PASSPORT.の編集をしていて感じるのよ、笑顔の写真がときでも多く、生き生きと活動をしている様子が、現場にいない私ちにまで伝わってきたということです。様々な人たちが、何かを学び・知ること、次の展開へ広がっていく。そんな場づくりの様子を、来年も皆さんに伝えられるよう取り組んでいきたいと思いがます。2019年も残りわずか、良いお年をお過ごしください。して

ー 神倉 (デザイン)

NEXT ISSUE 次回予告 2020年2月配布予定。次回の旅も是非お楽しみ下さい。

とくしま市活センター TOKUSHIMA NPO CENTER

発行月 2019年12月
号数 71号
発行 徳島市市民活力開発センター
〒770-0847 徳島県徳島市幸町3丁目71番地の1 幸町会館1階
[TEL] 088-611-3886
[FAX] 088-624-3860
[mail] nposhimin@fm.nmt.ne.jp
[WEB] www.tokushima-shikatsu.com

ABOUT PASSPORT.

“PASSPORT.”それは皆さんを特別な旅へとお連れするチケット。行く先に広がるのは、団体の活動や人の想いに溢れた景色。見て、感じて、もっと知りたくなる。そんなきっかけをつなぐソーシャルマガジン。これを手にする皆様、どうか素敵な出会いがありますように。

See you next time.

この広報誌に関するご意見、ご感想は発行元である徳島市市民活力開発センター(088-611-3886)までご連絡下さい。



徳島市インターン生受入

徳島市役所が受け入れているインターン生へ講義を行いました。来てくれたのは大学生のお二人。徳島市市民活力開発センターの役割について知ってもらった上で、協働の考え方について学んでもらいました。いずれ彼らが公務員として働くようになったときに、この日の講義で得た知識が役立つことを願います。



個別交流会

「こういうボランティアに参加してみたい!」「こんな活動をしている人と話してみたい!」などの要望にお応えする個別交流会。防災関連の活動に興味があるという訪問者の希望を叶えるべく、ダッシュ隊徳島へ紹介させていただきます。興味があるなどどうしてもからからない、どこへ訪ねてもいいかわからない、なんてときはぜひセンターへお問い合わせください。



市活 REPORT

いつの間にか今年も残すところ僅かになってまいりました。平成から令和への移り変わり、様々な“変化”を迎え方も多いのではないのでしょうか。私たち徳島市市民活力開発センターでも、新たな取り組みに挑戦しつつ、これまで以上に多くの人が参加した年となりました。今号では、そんな私たちの2019年度事業を振り返ります。



JT NPO助成事業 助成金交付式 活動成果発表会

2019年度「JT NPO助成事業」における、2019年度助成団体への交付式、また合わせて行われた2018年度助成団体による活動成果発表会への参加させていただきました。会場には四国各県から中間支援組織や行政からも人が参列しており、各々の団体の活動内容を共有し、情報交換をする交流の場となりました。



ボランティア体験講座

センターでは毎月3回開催している中心市街地の清掃活動。高校生や大学生、社会人まで、今年度も多くの若者を巻き込みながら開催しています。特に今年は、「お掃除そうじ」や「仲間おそうじ」、「ロウソくそうじ」など、これまで参加者だった人が主体的に企画をし、取り組み姿が目立ちました(詳細は6-7p参照)



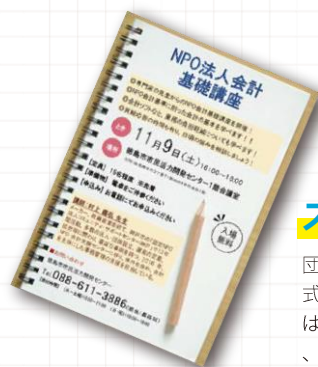
PASSPORT.70

2019年4月に開設した「サスケ・アカデミー徳島」の特集、企業への就職から就職後のフォローまでをサポートする、類をみない技能習得型就職支援事業所がスタートしました。取材を通して感じたのはあたたかな親しみやすい施設の雰囲気、利用者一人ひとりに寄り添う職員の熱心さでした。



スキルアップ講座

団体の運営に欠かせない情報をセミナー形式で提供する「スキルアップ講座」。今年度は既に「助成金獲得のための初歩講座」、「これから始めるNPO会計」、「NPO会計基礎講座」の3本を開催しております。



徳島市市民活力開発センターとは?

徳島市市民活力開発センター(市活センター)ではNPO活動の支援、行政との協働事業を推進するための拠点として、徳島市や周辺の11市町村(徳島東部地域定住自立圏)に活動の場を持つNPO団体へさまざまなサポートを行っています。指定管理者として、認定特定非営利活動法人新田川を守る会が運営しています。

開館日 火～土曜日 10:00～21:00
日曜・祝日 10:00～18:00
休館日 月曜日
※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日/年末年始・お盆
T E L 088-611-3886
F A X 088-624-3860
m a i l nposhimin@fmmnt.ne.jp
所在地 〒770-0847 徳島市幸町3-71-1 幸町会館1階





鳴門高校にて出張講座

徳島県社会福祉協議会からの依頼を受け、鳴門高校で実施している「ボランティア特講」という授業に伺いました。近年は学校教育でもSDGsについて触れられる機会が増えてきていますが、生徒たちにとっては関心を持ちにくいものであるのが実情。実際、今回の授業の冒頭で「SDGsに対するイメージ」を高校生たちに確認したところ、主な返答として「まったくわからない」が最も多く、次いで「名前が聞いたことがあるが、よく知らない」が多いという結果になりました。この認識に対して体感で学びを深めてもらうというアプローチは効果的だったようで、ワークショップ終了後、SDGsを肯定的に捉えている意見が非常に多く挙げられました。

徳島県庁NPO研修にて講座

徳島県庁では、県内NPO団体の実情を新規採用職員が把握することを目的としたNPO短期研修を実施しており、14名の職員を徳島市市民活力開発センターで受け入れることになりました。こちらでも「2030 SDGs」を用いてSDGsについて理解を深めてもらい、身近な出来事や自分の選択一つが世界の様々な事象に通じているということを認識していただきました。徳島県庁の新規職員である彼らは、これから先様々な政策立案に関わっていくことになります。その際にはぜひ、本日の講義のことを思い出していただき、SDGsという国が掲げる世界の目標についての視点を持って取り組んでいってほしいと思います。



国連が掲げる2030年までに達成すべき目標、SDGs（持続可能な開発目標）。徳島市市民活力開発センターでは『2030 SDGs（ニイゼロサンゼロ エスディージーズ）』というカードゲームを用いて、SDGsの入り口について学ぶ場を設けています。高校生や行政職員といった、異なった年代や立場の方々へ講座を開き、SDGsが自分たちの生活や仕事にどのように関わってくるかを体感していただきました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ゲームで学ぶ 2030 SDGs



講師 岸田 侑 / Yu Kishida

徳島市市民活力開発センター総務マネージャー
2019年に「2030SDGs公認ファシリテーター」の資格を取得し、行政や教育機関を対象にSDGsに関する講座を実施している。

2030 SDGsとは

カードゲームを通してSDGsの17の目標を達成するために、仮想の世界を自分たちでつくっていきながら、2030年までの道のりを体験するもの。SDGsの目標を細かく勉強するためのものではなく、SDGsの必要性や可能性について、楽しみながら理解を深めるゲームとなっています。ルールはいたってシンプル。与えられたお金と時間を使って、プロジェクト活動を行うことで最終的にゴールを達成するというものです。プロジェクトの進行によって仮想の世界の状況が刻々と変化していく。どのプロジェクトを行うかで世界の状況が刻々と変わっていく、参加者全員が行うプロジェクトの結果、2030年の世界があらわれていく、という風にゲームが進んでいきます。

- 1 ゴールカード。これによって、各々の目的が決まります。
- 2 お金と時間のカード。プロジェクトを遂行することで得られたいします。
- 3 プロジェクトカード。お金や時間を消費することで、プロジェクトを遂行することができます。
- 4 世界の状況メーター。プロジェクトの進行によって変動します。

徳島市市民活力開発センターでは、『ボランティア
それは街の美化活動になるだけではなく、ボラン
新たな人との出会いは、新たな活動の場へ繋がり、
交流となった『お遍路おそうじ』と、高校生をターゲットに様

体験講座』として月3回の清掃活動を行っています。
ティア活動を通して交流を広げる場ともなります。
連鎖的に広がっていきます。今号では世代を越えての
々な高校から人が集まった『制服おそうじ』の紹介をします。

ボランティアで広がる 交流の輪

お遍路おそうじ

昨年に開催された※『とくしま歩き遍路の旅』に参加していた
高校生から遍路道のごみ拾いをしたい! という声がありました。
それを実現したのがこの『お遍路おそうじ』です。活動当日に
は9人の若者が集まり、遍路道の清掃活動を行いながら、お
遍路の文化についても学んでいきました。また、現場の下見は『
子ども歩き遍路実行委員会』の方々へ協力を依頼し、一緒に遍
路道をまわり、どこかの道が良いか、どんなルートで巡るのが最適
かを考えました。昨年の事業をきっかけに世代を越えた繋がり
ができ、それがまた新たな活動へと繋がっていく、そういった可
能性を見せてくれた事例となりました。

制服おそうじ

高校生を主とした若者にターゲットを絞った清掃活動。ボランティ
アに興味がないような人でも参加したくなるようなものに、徳島
県内の様々な高校から人を集めたいということで、徳島北高校生6
人が中心となって企画。“ボランティアに対するイメージを変え
たい”と、広報の打ち出し方に工夫を凝らし、清掃活動の中にゲー
ムの要素を取り入れたり、参加者がどうしたら楽しめるかを追求
し、結果として97人の参加者が集まるという快挙を果たしまし
た。参加者の所属も徳島北、城ノ内、城北、城南など、市内各
地の高校から集まっており、参加者満足度も非常に高いものとな
りました。ボランティアに触れる第一歩となったこの活動が既存のイ
メージを塗り替え、今後の活動へと繋がっていくことを願います



※とくしま歩き遍路の旅とは?
昨年度に市活センターが徳島市退職校長会(後にとくしま歩き遍
子どもから高齢者まで、様々な世代の参加者とともにお遍路を体

路実行委員会として独立する)と共催で開催したイベント。
験し、その文化を学ぶ。10月~12月にかけて、月1回ずつ行った。